都留高ニュース

発行所
山梨県立
　都留高等学校
大月市
大月２丁目11-20
編集
都留高新聞同好会

これからの都留高はどうなるのか？！

新しい事が始まる予感特集号

生徒会役員選挙実施

日本の国政でも昨年に続き首相が変わりました。都留高校でも10月８日に新しい生徒会役員を決める生徒会選挙が行われます。都留高生のみなさん、都留高校の未来を決める大事な選挙です。真摯な態度で選挙に臨みましょう。

立候補者のポスターを眺める都留高生徒

　新年度の生徒会役員選挙に立候補された方々にアンケート調査をしました。

Q１．立候補した理由はなんですか。
Q２．都留高の良いところはどこですか。またどのような学校にしたいですか、具体的に教えてください。
Q３．全校生徒の皆さんに一言！

生徒会長候補　２年５組　佐藤はなさん

１．一年の頃から生徒会で先輩方が行事をつくりあげていく姿や、全校の先頭に立って引っ張っていく姿を見てかっこいいと思ったからです。また、自分が生徒会長になってより良い学校、より良い行事をつくっていきたいと思いました。

２．何事にも全力で取り組める環境が整っているところが良いところだと思います。私が会長になったら、都留高を一人一人にとって「楽しい」と思える学校に近づけたいと思います。具体的には行事などで意見を取り入れ、また一つ一つのことを確実に準備し、全校の中で取り組みに対して「不安」なことがないようにします。

３．生徒会長になったら、全力で学校のために頑張ります。みなさんが充実した学校生活を送れるよう、達成感を感じることができる行事、誰もが不安を感じることがない取り組みを作っていきたいと思っています。応援よろしくお願いします。

男子副会長候補　２年４組　平子渉兵さん

１．これまでの生徒会での経験を活かして学校を引っ張っていきたいと考えたからです。

２．良いところは元気がよくて活気があるところです。コロナ禍でできるイベントが限られているので、限られている中でも思いっきり楽しめるような学校にしたいです！

３．楽しく元気に学校生活が送れるような学校をつくっていきたいと思うので、よろしくお願いします。

女子副会長候補　２年４組　水越萌媛さん

１．姉が副会長だったことから興味を持ち、今年の学園祭で先輩方が全校を盛り上げながら一生懸命働き、全力を尽くしていた姿を見て、自分も都留高のためになる活動を中心となって行えるようになりたいと思い立候補しました。

２．生徒一人一人に思いやりの心があり、勉強や部活動に熱心に取り組む、何事にも手を抜かないところだと思います。「挨拶がしっかりとできる」や「授業中の態度、雰囲気が良い」など当たり前でとても大切なことを完璧にこなせる学校にしたいです。

３．これからの活動を通して私のことを見ていてくれると嬉しいです。精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

財務局長候補　２年２組　岡部咲香さん

１．一年生の頃から財務局長として活動する中で先輩が局長として行動している姿を見て、憧れを持ったからです。

２．部活動に積極的に参加しながら、目指す進路の実現に向けて努力する生徒が多く学習環境も整っているところだと思います。今はコロナで思い通りにできないことも多いですが、みんなが楽しめるような学校行事ができるようにしたいです。

３．精一杯頑張りますので、応援よろしくお願いいたします。

　生徒会役員選挙は都留高校の今後を決める大事な選挙です。真摯な態度で選挙に臨みましょう。

自学進取

「今日は何だか頑張れないなぁ」と思うときは誰だってあると思う。原因は体の不調、心の不調、新型コロナウィルス感染症の後遺症も最近は話題になっている。頑張れない状態がずっと続くと「さぼり癖がある。やる気がない。怠け者だ」と批判されてしまう。しかし、どうしても頑張れない人は確実にいる。宮口幸治著『どうしても頑張れない人たち～ケーキの切れない非行少年たち２』（新潮社）では、そんな人たちに対してどう接していくべきかを記している。中でも「第４章やる気を奪う言葉と間違った方法」に書かれていることは目から鱗だ。そこでは、「でもな、それは君にも問題があるんじゃないかな・・」「もっとできるはずだ」「だから言った通りでしょ」などが「やる気を奪う余計な言葉」として、また「場違いな誉め言葉」のも悪い例としてあげている。第５章ではやる気につながるための３つの段階として「見通し」「目的」「使命感」について説明しているが、そうは言っても頑張れない人を支援することは容易ではない。第７章では「支援者を支援せよ」ということで支援者への支援について述べられている。参考にしたい。（顧）

取材・広告希望の方は新聞同好会木内）まで

都留高工事中

今、何の工事をしているんですか？

夏休みが明けてから、工事がいたるところで始まった。

手洗い場自動水栓化工事、便座洋式工事、北館トイレ改修工事等、これからの学校生活に支障が出ないよう様々な工事が行われている。既に、手洗い場自動水栓化工事、便座洋式化工事は終了している。

現在行われている北館トイレ改修工事は、主にトイレブースの改修・天井の照明を蛍光灯からＬＥＤライトに変更・排水管等の改修（撤去、新設）など、多岐にわたる。この北館トイレ改修工事は令和３年10月下旬に終了予定だ。既に令和元年には南館、令和２年には中館を改修している。

また、屋内運動場（体育館）の屋根改修工事も行われている。毎年の台風や劣化による雨漏りが起こっているのだ。この工事は来年の２月中旬に終了予定だそう。

体育館全体に覆われた足場

そして、擁壁（ようへき）改修工事も行われる予定だ。主に大月東小学校側の大月市道に面した擁壁の改修をするそうだ。

旧ごみステーション付近にあった木は全て伐採されている

老朽化した擁壁を撤去・新設し、安全に生徒が登下校できるよう、改修していただく。一方、残念ながら工事に先立って、現在、大月東小学校側に植えてある桜の木を伐採している。ただ、擁壁改修工事が、終わったら緑化をする予定だそうだ。

インタビューにお答えしていただいた山本信一事務長に、この工事をするにいたった経緯についてお伺いすると、「**手洗い場自動水栓化工事は、やはり新型コロナウィルス感染防止対策として工事をしました。トイレ改修工事については、生徒の生活環境に合わせた使いやすさを重視し、生徒によっては和式を使用する生徒もいる為、和式も残すよう工夫もしています。また、屋内運動場や、擁壁改修工事は万が一地震などの自然災害が起こった時のことを考え、不安を解消するために工事に至りました**」と、説明してくれた。

お話しをいただいた山本事務長さん

最後に生徒に向けて、「工事の騒音や、トイレが立ち入り禁止になるなど不便をかけて申し訳ないが、工事場には入らず生活してもらいたい。屋内運動場については近寄ると危険なので安全に注意し、活動して欲しい。ご協力お願いします。」と話した。

インタビューを終え、事務長さんのお話を聞いた後、私達の見えない所で生徒の学校生活がより良いものとなるために、多くの方が関わってくれているということを知り、感謝の気持ちが溢れた。工事が終わったあとの学校生活の中でも、常に誰かが私たちの学校生活をより良くする為に考えてくれている、ということを忘れずに感謝して生活していきたい。

この秋おすすめの一冊！

読書の秋。おすすめの一冊を紹介します。

「読書力」

第一章「自分をつくる」　第二章「自分を鍛える」　第三章「自分を広げる」　と三章に分けられ筆者の読書力に対しての熱意がとても感じられる一冊。特に「本は読んでも読まなくてもいいというものではない。読まなければいけないものだ。」というフレーズが印象に残っている。

筆者は読書はするべきだし読書によって自己形成やコミュニケーションの力、人間を理解する力との関わりを示している。他にも心に残るフレーズ、工夫の手がかりも満載。

多少とも精神の緊張感を伴う歯応えのある読書が意識された文庫百選～おすすめブックリスト～が本の最後に書かれている。様々なテーマごと本が紹介されており、今自分がどんな本が読みたいのか分からないとき、これを見れば気に入った本が見つかるかもしれない。

「月曜日の抹茶カフェ」

２０２１年「お探し物は図書室まで」で本屋大賞２位を取った青山美智子さんの最新刊。

川沿いの桜並木のそばに佇む喫茶店「マーブル・カフェ」が、定休日の月曜日に一度だけ「抹茶カフェ」を開くことに…。いっぱいの抹茶から始まる、東京と京都をつなぐ十二か月の心癒されるストーリー。

一話一話がリレーのように話が繋がり、人と人との繋がりが感じられる。心が温まり、前向きになれるような一冊。この「月曜日の抹茶カフェ」は「木曜日にはココアを」の続編で、この２冊を続けて読むとより楽しめると思う。

お話してくれた落合司書さん

司書の落合さんから「本当は紹介したかったけど紙面がたくさんで紹介しきれなかったぜひ読んで欲しいおすすめの一冊です！」

多くの人に図書室を利用してもらうために行っていることもお話していただいた。

「本を手に取りやすくするために様々な本を展示しています。各学年が行なっている授業に合わせて紹介する本を変え、図書室の入口やカウンター横にみんながよく借りる本や多くリクエストされる本、図書館だよりで決めたトピックについてのコーナーを作っています。さらに今話題のニュースについて新聞が掲示されており、関連付けて図書室の本も合わせて掲示しています。高校生のうちに読書の習慣をつけるためにも一か月に一冊は図書室で借りましょう！ぜひ図書室の工夫に目を向け、読書の秋を楽しんでいきましょう！」